

いなばエリア「ふれあいの橋の会」議事録

【日 時】 令和8年9月15日（火）13時30分～14時30分
【場 所】 通所リハビリテーションいなば幸朋苑・デイルーフゆうゆう
【出席者】 入江敏夫 委員 橋本京子 委員 虎井佐恵子 委員
尾崎泰弘 総合施設長 田中俊介 施設長 青木康浩 係長
田部真徳 主任 森本渉平 主任

いなば幸朋苑



通所リハビリ デイルーム



ゆうゆう デイルーム

1 開会・挨拶（尾崎総合施設長）

9月からいなばエリアの総合施設長をしております、尾崎泰弘です。よろしくお願いいたします。委員の皆様には、お忙しいところご参加いただき、ありがとうございます。施設を見ていただき、気づいた点をご遠慮なくご指摘ください。本日も忌憚のないご意見、よろしくお願いいたします。

2 環境点検（巡回前）

田中施設長：前回の訪問は、昨年10月でした。まず前回ご指摘いただいた点に対する改善状況について報告します。

通所 リハ	ゆう ゆう	指摘事項	対応状況
○		デイルームが狭く混雑している	物品を整理整頓した
○	○	訓練室の照明が暗い	照明をLEDに変更
○	○	車いす置き場の再検討	場所を変更した
	○	天井が高すぎて落ち着かない プライバシーの確保が不十分	デイルームの場所を変更した
	○	非常口に公用車が停まっている	駐車禁止区画とした
○	○	感染症対策として強制換気	窓を開け扇風機を使用して換気
○		（継続）言語訓練室プライバシー確保	訓練室を個室に変更した。

3 環境点検

- ・1階ゆうゆう・通所リハビリの各デイルーム、中央交流スペース、洗面・手洗いスペース、ベランダ等の環境点検・巡回を実施しました。

(1) 施設環境・雰囲気に関する評価と意見

橋本委員：ガラッと雰囲気が変わり開放感があって良いと思いました。デイルームもとても明るくなったと感じました。リハビリルームの一角にデスクがあり、事務作業スペースがありますが、物が多く整理された方がいいと思います。

入江委員：1年前と比べて見違えるように綺麗になり、パーテーションやドアの開放感も含めて大変明るい雰囲気になりました。施設特有の閉鎖感がなく、外部から中の様子が程よく見え、ご利用者も安心して過ごせる素晴らしい環境になっていると感じます。

ドアなどの案内表示が分かりやすい大きな文字で統一されており、入った瞬間に安心感があります。

虎井委員：手洗い・歯みがきスペースに仕切りが無いので丸見えで少し気になりました。

森本主任：洗面・手洗いスペースについては、ご利用者様がご自身の生活動作として自発的に歯みがき等を行える場でもあります。ご意見を踏まえ、隠しすぎず見せすぎない適切な見せ方・隠し方を、現場職員やご利用者の声を聞きながら検討してまいります。

虎井委員：「見せる／隠す」のバランスについては、プライバシーへの配慮と自立支援の観点から、どのように見せるか職員間で検討していただければと思います。

(2) 設備・アクティビティ・感染対策への提案

入江委員：明るく広々としたスペースができたので、最近話題の「eスポーツ」などを導入してみتهはいかがでしょう。画面を見る人もプレイする人も一緒に楽しめ、非常に活気が出ると思います。

田部主任：eスポーツやスクリーンの活用は大変魅力的で、私どもでも検討材料として温めていたところです。プロジェクターでスクリーンに映し出し、ピアノ演奏や音楽と同様に全員が賑やかに参加できるプログラムとしてぜひ具体化していきたいと思います。

橋本委員：広い空間ですので、定期的な強制換気や空気の入れ替え、感染症対策への意識維持も重要です。また、日常の細かな整理整頓や清掃も、日頃から職員の皆様で気をつけて継続してください。

森本主任：換気につきましては、窓開けやサーキュレーターの使用を行っておりますが、この広いスペースで十分な効果を上げるために何が必要か、改めて勉強し確認いたします。日々のお声がけや整理整頓も徹底してまいります。

(3) サービス・ソフト面（ケア・リハビリ・食事）のあり方

入江委員：地域の方々と話すと、施設の「食事の内容や美味しさ」が大変話題になります。手作りで温かい食事を提供している施設は非常に評判が良いです。また、リハビリや介護も単なる「機械任せ」ではなく、職員さんが手取り足取り温かく指

導し、「あの職員さんに会いに行きたい」と思えるような人間的関わりが一番大切だと感じます。

青木係長：他の施設では、食事を利用者と一緒に作っているところもありますね。

森本主任：リハビリにおきましては、手取り足取りの温かい関わりはもちろん大切ですが、関わりすぎることによってご利用者様ご自身の能力を引き出せなくなってしまう面もあります。機械や環境を活用しつつ、ご本人の持つ力を最大限に引き出す正しいリハビリと満足感の提供、その両者のバランスを追求してまいります。

田中施設長：環境や機械などのハード面だけに頼るのではなく、職員教育や心の通った接遇などソフト面を磨くことの重要性を改めて実感いたしました。職員としっかり共有し、サービス向上に努めます。

尾崎総合施設長：貴重なご意見をいただきありがとうございました。利用者が気持ちよく過ごせるよう環境改善に努めていきます。



<交流スペース>



<リハビリルーム>



<手洗いスペース>

【まとめ】

通所 リハ	ゆう ゆう	指摘事項	評価事項
○	○	・手洗い・洗面スペースのプライバシーと自立性の両立（見せる／隠すバランスの検討）	・1年前と比べ非常に明るく開放的な雰囲気へ改善された
○	○	・eスポーツやプロジェクター、スクリーン等を活用した全員参加型アクティビティの導入検討	・ドアや案内表記が明確で分かりやすく安心感がある
○	○	・広いフロア空間に応じた適切な換気設備・方法の再確認と徹底	・交流スペースの設置により、ご利用者同士の会話や交流が活発化している
○	○	・食事内容の満足度向上（手作り感や美味しさの追求）	—

【次回】 令和8年10月20日（火）13時30分～
にしまち幸朋苑（にしまち診療所・ことばとこころの支援室）